

【1班】

【ファシリテーター】内藤哲也（神奈川県県民局次世代育成部 私学振興課）

【書記】佐々日向子（お茶の水女子大学）

Q:F『身の回りにあるネットトラブル、どんなのがある？』
 →「ゲーセンで知り合った人がストーカーのようになった。Twitter でどこに行くと言言するとそこに現れた」
 →「炎上した。同じ学年の子がラブライブの劇場でやらかして、2ちゃんに晒され、家にピンポンされた」
 →「Twitter で特定された」
 →「全然知らない人が学校の人の Instagram と Twitter を大量にフォローしてきた」
 →「SNS 上での喧嘩」
 →「女子の新入生になりすまし、グループで変な発言をされた」
 →「アカウントの乗っ取り、なりすまし」
 →「他人の名誉を傷つける写真を SNS にあげた」
 →「自分の顔写真が流出した」
 →「個人情報流出」
 →「LINE での仲間外れ」
 →「自分の考えがうまく伝わらない、誤解が起こる」
 →「SNS に熱中して自分の時間がうまく使えない」
 →「ゲームのコミュニティサイトで仲間外れにされる」
 →「自分に連絡が来ない」
 →「ゲームで負かした相手からスパムメールが送られてきた」
 →「ゲームをしていたらアダルトな画像がでてきた」
 →「宗教的な宣伝」

Q:F『万が一にでも遭いたくないトラブルってどんなもの？』
 →「Amazon を乗っ取りされ、いくら 1t 買われた」
 →「特定されるのはいや！」
 →「巻き添え」
 →「炎上とは無関係だけど、炎上した子に不用意に発言した子が巻き添えをくらっていた」
 →「誤解による炎上。自分が意図した意味にとられなくて炎上するのはいやだな」
 →「仲間外れ」「連絡がもらえない」
 →「LINE やってないから連絡来ないことがよくある。信頼できる友達に連絡が来たら教えてもらえるようお願いしている」
 →「架空請求」「ワンクリック詐欺」

S「ワンクリック詐欺を見たことある」
 →「他人に無断に SNS にあげられるのはいや」

S「SNS ってどういうもの？」

F『ソーシャルネットワークサービスのことだね』

S「ネット全部ってこと？」

J【コミュニケーションがとれるサービスのこと。Twitter とか LINE とか】

F『では出てきた意見を「被害者加害者なのか、ネットと関係深いのかそうでないのか」分類わけしてみよう』

S「依存って何に対する依存？」

S「依存ってなに？」

S「SNS 依存だとネットのかかわりが深い気がする」

S「連絡こないのはネット深くなさそう。被害者かな」

S「起こった被害の原因は自分にあるかもしれない」

F『では、その原因と』

S「特定されるということはそれなりのことをしていると」

S「写真を勝手にあげられてやめてといてもやめてもら

思う」

S「炎上した人が黙るから周りの人が巻き添えをくらってしまう」

S「そもそも炎上と特定って離して考えていいの？」

F『本人は気を付けていたけど、母親が子供のことを話して子供が特定されてしまったことがあるけど、特定されるのは本当に自分だけのせい？』

S「それは巻き添え」

S「でもつながっている相手も自分の範囲内だからそういう人となつなってるのも悪いと思う」

F『たとえば自分の写真を勝手に雑誌に投稿された話は、ネットに自分の写真を投稿されたことと似てるけど、それぞれ本当にネットだから起こる事例かな？』

S「雑誌のほうがネットより被害が小さい」

S「炎上もニュースに出てるよね」

S「ネットだから被害が大きくなりやすい」

F『どうしてこういうトラブルが起こるのかな？』

S「LINE は既読がつくからやめたくてもやめられない」

S「夜 10:00 以降はやらないって相手に伝えればいいと思う。コミュニケーション不足が原因なんじゃないかと思う」

S「じゃあ、寝たふりや通知を切ればやめられるんじゃないか」

S「寝てる間に話が進んで置いてきぼりになるのがいやだ」

S「私は顔写真晒されたけど炎上はしてない」

S「線路の上で写真撮るのって普通に犯罪だよな」

S「なぜ炎上するようなことをするんだろう」

S「目立ちたがりなんじゃない？」

S「これはやばいぞって思って投稿してないんじゃないか。やばいぞって思わせるのが大切なんじゃないか」

S「もしこうしたらこうなるってことを考えればいいんじゃないか」

S「自分はこうはならないって思っているから投稿してしまうんじゃないか」

S「アプリそのものはいいものだけど、それを悪用されている」

S「小さいころから正しく使えるようにすればいいんじゃないか」

S「使い方が悪いだけであって正しく使えば楽しく使える」

S「ゲームなら一度間違えてもやり直せるが、SNS はやり直せない」

S「炎上してからじゃないと気づかない」

S「人の気持ちかわからないから起こすんじゃないか」

S「それもコミュニケーション不足が原因だね」

S「それはだめだって言ってくれないとだめだと気がつかない」

S「怒られてもなんでだめなのかわからない人が多い」

S「他人の気持ちよりも自分の面白さを優先しているから起こっていると思う」

S「自分以外が楽しんでいると自分が嫌でもやめてって言えないこともある」

S「SNS を使い分けてほしい。仲間同士でシェアしたい気持ちはわかるけど、Twitter」

S「意識が低いのが原因」

S「意識が低いのは自分たちだけでなく大人たちもじゃない？」

→「意思表示をしっかりとる」

→「自分の知らないことに手を出さないようにする」

<p>えなかったときは企業に削除を頼めないかな」</p> <p>F『Twitterでは削除申請は一応可能だよ。申請は英語のページになるんだけどね』</p> <p>S「じゃあもっと簡単にできればいいな」</p> <p>S「悪口を載せるときに「本当に載せますか？」というワンクッションがあれば悪口の投稿が減ったって話を聞いたことがある」</p> <p>S「インターネットでは失敗して学ぶのが難しい」</p> <p>S「高1の弟が小学生のコメントにむかつくと言って実際に攻撃してたりする。もし現実で小学生がけがをしたらみんな心配すると思うけど、ネットだと失敗したらすぐあざ笑うのよくないよね」</p> <p>S「実際に炎上体験できたらいいね」</p> <p>S「炎上体験の授業実際にやったよ」</p> <p>S「炎上って他人事だから、実際にやってみて自分でも起こるんだと実感すべき」</p> <p>S「去年は小さいころから SNS に関する授業をすべきだあって意見がでてた」</p> <p>S「大人が SNS わかってない」</p> <p>S「勉強会とかすればいいのに」</p> <p>F『一応親子で学ぶ SNS とかやっているところはあるよ』</p> <p>S「でも全然広まってないね」</p> <p>S「メディアがスマホの悪いことしか言わない。もっとこうしたらいいよとかを言えればいいのに」</p> <p>S「それを信じてしまう人もいるしね」</p> <p>S「講習会やってくれても興味がある人しか行かないんじゃないか」</p> <p>S「規制に引っ掛かった人は講習会とか」</p> <p>F『たくさんトラブルの対策が出てきたけど、実際に自分ができることってなんだろう？』</p> <p>→「自分で声をかけあってみんなで注意する」</p> <p>→「わからないことがあれば聞く」</p>	<p>→「自分は大丈夫と思わない」</p> <p>→「使用時間を決める」</p> <p>→「常に他人のことを考えて行動する」</p> <p>→「現実とネットは同じと思う」</p> <p>→「個人情報に気をつける」</p> <p>→「フィルタリングを使う」</p> <p>→「URLは常に疑う」</p> <p>→「ネットの情報は常に疑う」</p> <p>→「不用意な発言に気を付ける」</p> <p>→「先を考えて行動する」</p> <p>→「決めた時間だけロックする機能、やりすぎるとロックがかかる機能」</p> <p>→「一人がやっても意味がないから、横浜市、など大きな区分けでルールを定める」</p> <p>S「LINEで必要な連絡をしている人もいるから全体でルール決めるのはどうなのか」</p> <p>S「SNSがないときにはできていた連絡を大切にすべき」</p> <p>F『スマホがなくても大丈夫なよう訓練するってことかな？』</p> <p>S「実際スマホなくなればいいのって思うときはある」</p> <p>F『周りから協力してもらわないとできないものはどうする？』</p> <p>S「親に言われたとか言う」</p> <p>S「意識するとか一人でするのは難しいから、企業の力も借りたい」</p> <p>F『結局なにが言いたい？』</p> <p>S「一番大切なのはトラブルを起こさないこと。そのために自分たちでできることには限りがあるから周りの力も借りたい」</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテーター所感】</p> <p>皆さん活発に発言なされ、ファシリテーターはほとんど不要状態でした。持っている問題意識や気付きを、どう具体化させていくか、グループで共通理解・合意形成していく段階での苦労は、今後の人生の糧となると思います。</p> <p>自分にできることだけにとどまらず、夢を語る姿には感動を覚えました。</p>	
<p>【書記所感】</p> <p>生徒だけでどんどん話がすすんでいくところがすごかったです。各々積極的に意見を出し、動き、自分たちで納得のいくまで議論していく姿がとても印象的でした。トラブルの原因、対策について深く掘れていたと思います。</p>	

<p>【2班】</p> <p>【ファシリテーター】相原健右（神奈川県立総合教育センター）</p>	<p>【書記】野村茉希（東京都市大学）</p>
<p><アイスブレイク></p> <p>各自自己紹介</p> <p>F『グラウンドルールを守ってほしい』</p> <p>①楽しく楽しむ楽しませる</p> <p>②積極的に「聞く」「話す」「取り組む」</p> <p>③時間厳守</p> <p>④安全なシェルター</p> <p><ネットのトラブルについて考えよう></p> <p>Q：F『ネットトラブルについて自分が思いつくもの、経験等は？』</p> <p>→「課金による借金」</p> <p>→「欲に流される」</p> <p>→「SNSにおける文意の取違い」</p> <p>→「迷惑メールが送られてくる」</p> <p>→「架空請求・ハッキング等の犯罪」</p> <p>→「偏見が生まれる」</p> <p>→「アカウントの乗っ取り」</p> <p>→「歩きスマホ」</p> <p>→「個人情報が流出しやすくなった」</p> <p>→「LINEでの良くない話、暴言」</p> <p>→「ウイルス感染」</p> <p>→「長時間使用による健康被害」</p> <p>→「単にその人が嫌い」</p> <p>F『上記の意見をグループにまとめて見出しを決めてほしい』</p> <p>→コミュニケーション・欲・金銭トラブル・スマホ自体・個人情報</p> <p>F『気になるところがある。“欲”については使っている人の欲だね。金銭トラブルは被害者だね。』</p> <p>F『関係の近いもの、独立しているものについて全体を見てみよう』</p> <p>S「“個人情報”と“コミュニケーション”は似ている。使用者が知らないうちに加害者になっていることが多い」</p> <p>S「友人の写っている写真を勝手に使用してしまうことも、無意識に加害者に」</p> <p>F『個人情報＝誰かを危険にさらしてしまうもの、とい見解だね。』</p> <p>S「“欲”が出て課金してしまう」</p> <p>S「課金と“スマホ自体”も近い。歩きスマホもやりたい、という欲から行ってしまうから。」</p> <p>F『“欲”と“スマホ自体”はやはり使い手の問題もあって、似ているね』</p> <p>F『今出た意見を元に、もう一度“金銭トラブル”の見出しを考えてみよう』</p> <p>→犯人が特定できない詐欺・いきなり来る詐欺・詐欺被害</p> <p>F『“コミュニケーション”についても分けてみた。やり取りの中での話、悪気はないもの、偏見の3グループに考えられる。“個人情報”とやり取りの中での話は似ているかな？』</p> <p>S「SNSだと陰口がいいやすくなる。Twitterでの裏アカウントなど。」</p> <p>S「基本的に取り違いの時って、プラスのこと言っているよね。」</p> <p>Q：“ネットに関する知識不足”の解決策は？</p>	<p>F『“コミュニケーション”のなかでも中カテゴリーを決めてみよう。』</p> <p>→悪意があるもの・悪意がないもの</p> <p>F『“個人情報”も中カテゴリーを決めてみよう。』</p> <p>→他人のもの・自分のもの</p> <p>F『“コミュニケーション”と“個人情報”は関連性があるね。』</p> <p>F『“欲”についても分けてみよう』</p> <p>→健康に関するもの・お金に関するもの</p> <p>F『次は、なぜこのようなことが起こるのか、について考えてみよう。』</p> <p><トラブルを起こさない・巻き込まれないためには？></p> <p>Q：“コミュニケーション”についての原因は？</p> <p>→顔が見えない・かまって欲しい・発言者の不注意・感情に任せてしまう・人間関係・直接顔が見えない</p> <p>Q：“個人情報”についての原因は？</p> <p>→広い世界であることがわかっていない・場を考えていない</p> <p>Q：“欲”についての原因は？</p> <p>→ストレス・手軽にできることが増えた</p> <p>Q：“詐欺被害”についての原因は？</p> <p>→気軽にネットを使用できる・セキュリティの甘さ・被害にあう可能性を考慮していない・実態を知らない・対策不足</p> <p>S「“個人情報”については不注意や危険性自体の不認識が原因？」</p> <p>S「トラブルについての認識不足がきっかけとなり、トラブルへと発展している。」</p> <p>S「詐欺についても、自衛の低さからトラブルが発生していると考えられる。」</p> <p>F『総合すると自分が悪いことになるね。さらに分類してなにか気がついたことは？』</p> <p>S「現実とネットを分けて考えていることが根幹に？」</p> <p>F『それを踏まえてさらに分類してみよう。』</p> <p>S「使用者で自衛すれば良いものを、していないことによって起こる“使用者の認識不足で発生する問題”。知識不足から来る。」</p> <p>S「“視野が狭い”似ているね。」</p> <p>S「“本人の思慮不足”と“知識不足”も似ている。」</p> <p>F『“人間の心情が関係する問題”と“感情で動く”似ているね。』</p> <p>S「“欲”も同じ？」</p> <p>F『“ネットの普及”とはどういうことかな？』</p> <p>S「“ネットの普及”によって便利になった反面、悪い面も見えてきている。」</p> <p>S「“ネットという環境が起こしやすい問題”も同じ。」</p> <p>S「“視野が狭い”と“ネットと現実が区別されてしまっている”が似ているかも。」</p> <p>F『“対策不足”とは？』</p> <p>S「面倒になって、自衛できるものもやらない。鍵アカウントなど。」</p> <p>F『根本的な原因も実は被っているということが見えてきたね。原因が見えてきた次は、大きく4つ（ネットに関する知識不足・人間の欲求、感情・ネットという環境・対策への意識不足）について、自分たちができる解決策を考えてみよう。』</p> <p>S「共通の友人を通して話を深めていく。」</p>

<p>→コミュニケーション的側面:「専門的な本を見てみる」</p> <p>→個人情報的側面:「まあいいか、をなくす」「フィルタリングなどをかける」「本を見る」</p> <p>→欲求的側面:「長所だけでなく短所についても考え気をつける」「わからないことはやらない」</p> <p>→詐欺被害的側面:「わかる人が教えてあげる」「経験談を聞く」「本を見る」</p> <p>Q: “人間の欲求, 感情” の解決策は?</p> <p>→コミュニケーション的側面:「送信する前に一度考える」「細心の注意を払う」「圧力やノリに惑わされない」「秩序を保つ」</p> <p>→個人情報的側面:「イライラむしゃくしゃしている時にやらない」「課金の前に考える」</p> <p>Q: “対策への意識不足” の解決策は?</p> <p>→コミュニケーション的側面:「語尾にwをつける」「絵文字を活用」</p> <p>→個人情報的側面:「無関係ではないという意識を持つ」「トラブルへの対策を怠らない」</p> <p>→詐欺被害的側面:「目に付く呼びかけをする」</p> <p>Q: “ネットという環境” の解決策は?</p> <p>→個人情報的側面:「メアド, パスワードは定期的に変更する」「距離を置く」「設定を再確認する」</p> <p>Q: “世代による認識” の解決策は?</p> <p>→「大人も理解できるようにする」</p> <p>F『総合してみると, 立ち止まって考えることは大切である, とわかるね。』</p> <p><どうアドバイスするのか?></p> <p>F『実際にトラブルが発生したら, どうアドバイスしていくのか, 友人関係と詐欺に焦点を当て, 考えてみよう。』</p> <p>Q: 友人とのトラブルについて</p> <p>→「当事者同士直接話し合う」「他人であれば距離を置く」「ルールを決める」「誤解を解く」</p>	<p>S「親に相談すれば, 第三者的な意見がもらえるかも。」</p> <p>S「先生はこじれそうなので相談できない…」</p> <p>F『人を頼る, というふうにまとめられるね。』</p> <p>Q: 詐欺被害について</p> <p>→「同様の事例を調べる」「親に打ち明け, 専門会社に相談」「誰かに相談」「運営会社に連絡」「もう一度不自然な点はなかったか確認」「新しいアカウントを作成」</p> <p>S「ウイルス感染したら自分ではどうにもできないので, 誰かに相談したほうがいい。」</p> <p>S「自分の中で整理するという意味でも, 誰かに相談したほうがいい。冷静になれる。」</p> <p>S「アカウントを乗っ取られた時には, 新しく作り直すのほうがいい。」</p> <p>S「サポートセンター等にも相談できるね。」</p> <p>F『状況を把握する, ということが一つ大切であるとわかるね。相談先は, 親またはプロかな?』</p> <p>S「親=精神面, プロ=技術的側面での解決が見込める。」</p> <p>S「気をつけていればそこまでひどくならないはずであるけれど……。」</p> <p>F『お金を払え! など実際に詐欺が起きてしまった時には…』</p> <p>S「無視してもいいんじゃないかな。」</p> <p>S「迷惑メールなどは設定で解決が見込める。」</p> <p>S「実体験であるが, 見覚えのないものは法的処置が書いてあったとしても無視しても良いと言われた。」</p> <p>S「返信してしまうと, 使えるメアドであるとサギ師にバレてしまうから, しないほうがいい。」</p> <p>F『まとめると, トラブル関係は直接話す, 詐欺関係は把握と相談(親とプロ), さらに無視をする, ということが考えられるね。』</p> <p><熟議終了></p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【ファシリテーター所感】

全員の意見が平等に活かされるスタイルの協議から学ぶものは多かったのではないのでしょうか。私自身, 高校生のみなさんの協議に参加させていただいて, いろんな刺激を受けました。今回のテーマとなっている内容は, 「現場感覚」と言い得るほど, 高校生である皆さんにとって身近なものであると感じました。それと同時に, 高校生ならではの発想の柔らかさも感じました。はじめは「人見知り」で「意見なんて言えない」と言っていた皆さんが, 最後には時間をオーバーしても話し続け, 協議を続けようとする姿に, 頼もしさを覚えました。

【書記所感】

書記として, 初めての参加でした。高校生で参加した際とは異なり, 第三者の視点に立って議論を聞くことができたと思います。高校生ではなくなった今, やはり“生の声”である高校生の意見が大切であると改めて実感しました。自身が参加したころよりも, 開催規模を含め議論も活発になっており, 嬉しく感じました。参加した高校生が, 今日学んだこと・体験したことを伝え広めていくことを願います。

<p>【3班】</p>	
<p>【ファシリテーター】 小澤美紀（神奈川県立総合教育センター）</p>	<p>【書記】 中島尚樹（NPO 情報セキュリティフォーラム）</p>
<p>Q:F『最初に自分が考えるネットトラブルを付箋に書いてみてください。』</p> <p>S:主なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> →「個人情報」 →「知らない人と会う」 →「出会い系サイト」 →「ワンクリック詐欺」 →「言葉のすれ違い」 →「デマ情報」 →「肖像権」 →「アカウント乗っ取り」 →「時間管理が上手くいかない」 →「課金」 <p>Q:F『出たトラブルを分類分けしてみてください。』</p> <ul style="list-style-type: none"> →法的に OUT →日常的に OUT →被害者 →加害者 <p>S:分類する際の議論</p> <ul style="list-style-type: none"> →「自分で自分に加害して、自分が被害者になっているケースもあるのでは？」 →「言葉の行き違いは言語能力の問題ではないか？」 →「相手に分かりやすいように文章を書く必要がある」 <p>Q:S 時間管理が上手く行かないはなんのトラブル？</p> <ul style="list-style-type: none"> →「自分で自覚がないとだめ」 →「どこまでが依存でどこまでが依存じゃない？」 <p>Q:S ネット上の付き合いで気を付けることはなに？</p> <ul style="list-style-type: none"> →「周りに同じ趣味の人がいないと、ネットで知り合うしかない。」 →「関わり方が重要。」 <p>S:「誤情報の判断」</p> <ul style="list-style-type: none"> →「頭ごなしに信じない。疑いを持って見る。」 <p>Q:S「なぜ Twitter に自分の情報をのせるの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> →「出してもいいけど、どこまで出しているのかを考える。」 <p>Q:S「肖像権、他人の写真をなんで勝手にネットに載せる？」</p>	<p>→「ちゃんと確認を取るべき。」</p> <p>S「なりすましらしき人との会話」</p> <ul style="list-style-type: none"> →「金の話はリアルで話した方がいい。」 <p>S「課金について」</p> <ul style="list-style-type: none"> →「リアルの金が見えないのに金が減るのは怖い」 <p>F:『高校生なのにフィルタリングかけるのはいやじゃないの？』</p> <ul style="list-style-type: none"> →「LINE さえできれば、その他は逆にフィルタリングに守ってもらいたい。」 <p>Q:S「フィルタリングは必ず申し込むことになっているのか？強制的にフィルタリングをかけることは出来るか？」</p> <p>J:【原則的に利用者が未成年の場合は、店頭からでるまでに携帯会社がフィルタリングをかけないといけない。外す場合も店頭で書面を親からもらう。原則的には未成年はフィルタリングの仕様が義務化されているが、保護者の判断等で選択の自由は与えられている。】</p> <p>Q:F『対策を考えてみましょう。』</p> <p>S:「炎上したときに謝って済む問題か？」</p> <p>S:「炎上はなかったことに出来ないのだから、謝ってもしょうがない。」</p> <p>S:「トラブルに会ったら、1人で抱え込まずにまずは親や相談窓口相談する。」</p> <p>S:「本音は親に相談したくない、先生にも言えない、やっぱり友達に言う。」</p> <p>S:「自分の失敗は話したくない。なるべく自分で解決したい。」</p> <p>Q:F『自分が友達に相談されたときにどうする？』</p> <ul style="list-style-type: none"> →「相談されても答えられない。」 →「まずは謝罪するようにアドバイスする。」 →「友達とのトラブルの場合は、相手と面と向かって話用にするようにアドバイスする。」 →「それ以外のお金が絡む様なトラブルだったら親に相談するようにアドバイスする。」 →「再発しない様に一緒に対策を考える。」 →「自分の行動に当てはめて考えてみる。」 <p>S「学校で生徒同士が教えあう機会をもつ。他人に教えることで自分が学べる。」 <熟議終了></p>
<p>【ファシリテーター所感】</p> <p>トラブルを起こしたり、巻き込まれたりする人は自己責任という意見を口にしつつ、自分たちで情報を判断できる力がないから、判断できるようになるまではフィルタリングで守ってほしいという意見が以外だった。</p>	
<p>【書記所感】</p> <p>高校生位の年代になるとフィルタリングを使うことに抵抗感があるのではないかと考えていたが、逆に自分を守るためのツールとして積極的に使用したいと考える生徒が多かったのがとても印象的だった。</p> <p>基本的にはインターネットなどは自己責任で使用すべきものだという考えのもとに議論がされていた。</p>	

【4班】

【ファシリテーター】橋本雅史(神奈川県教育委員会教育局指導部 高校教育課)

【書記】西郡裕子(NPO 情報セキュリティフォーラム)

■どんなネットトラブルがあるか
 F『どんなネットトラブルあるか、ネットが原因だと思われることを一人3つ附箋に書き出して、近いものをまとめよう。』
 →「ツイッターの乗っ取り・なりすましメール・個人情報の流出(掲示板)」
 →「匿名を利用した悪口(掲示板)・課金ゲームのやり取り・ツイッターでの商品のやりとり」
 →「炎上を煽って飛び火する。」
 →「知らない人に会う・歩きスマホ・グループでの悪口・一斉送信。」
 →「ツイッター乗っ取られた。パスワードの使いまわしはしていないし、長いパスワードだった。」
 →「知らないメアドから友達のメールがきた。同じ学年の子がなりすましてメールきた。」
 →「勝手に自分のアカウントが知られている。」
 F『歩きスマホは、よいこと・悪いこと?位置情報を見るときはどうしている?』
 →「止まって確認して、信号見ていく。防犯上、気にしている。とられそう。」
 F『LINEなどで友達とトラブルあった経験した人はいるか?』
 →「アメリカはメールとSNSを使い分けている。日本はごっちゃになっている。便利さを求めすぎている。」
 →「加害者の経験ある。会わない友達を加工した画像が他の友達から送られてきて、他のグループに送ったら生徒指導室に呼ばれた。謝罪して終わった。」
 →「重要なことは言葉で伝えたいので、トラブルに遭わない。」
 F『ネット上で人格が変わる人もいるよね。』
 S「ネット上とリアルと全く違う子がいる。LINE上ではよく発言するが日常は全く話をしない子がいる。』
 F『正式な文書とSNSの文書では全く違うはずだが、変えているのか?』
 →「結構使う。」
 →「メールのほうがフォーマルに終われる。LINEは一言メッセージ。」
 F『この先、何をまとめるか、どこに焦点を挙げて、どう進めるか、考えてみよう。』
 →「それぞれの問題に対してそれに対する対策を挙げてはどうでしょうか。」
 F『巻き込まれないためにどうしたらいいか、対策を書いて貼ってみよう。そして、自分で対策できるもの、できないもので分けてみよう。』『対策を赤の附箋に書いて貼ってみよう。自分たちの身を守るための有効策を青の附箋に書いて貼ってみよう。』
 ■自分では対策できないもののできるものの中(問題→対策⇒有効策)
 ・匿名を利用した悪口(掲示板)→スルーする⇒悪口の

部分を運営側に消してもらおう。(可能なら…)
 ・アカウント・ツイッターの乗っ取り。→パスワード・コードを複雑にする・パスワードを変えていく。⇒運営にアカウントを消してもらおう。
 ・個人情報の流出。→不必要な個人情報は載せないこととかがあるのではないか。
 ・勝手にアカウントが知られている。→アカウントを教えた人にいわないように言う。
 ・動画共有サイトに個人情報を載せた動画を載せたことによる個人情報流出。→投稿前に一度見直す。情報を参照して個人情報を含んでいないか見直す。⇒運営に報告の後に警察に相談。
 ■自分で対策できること
 ・SNSでのなりすまし・なりすましメール→相手に「なりすまし」が本人か聞く。⇒問い詰めてから着信拒否する。
 ・歩きスマホ→歩行という行為とスマホ操作は切り離して考える。⇒SNS上で話している人に話をやめるといってスマホをカバンに入れる。
 ・炎上を煽って飛び火する。→煽らない。⇒神速で謝る
 ・グループでの悪口せめて日記にとどめる。(アナログだが重要)⇒神速で謝る。
 ・課金アイテムのやり取り・チケットを売るという約束を破ったこと。→信用できる場所で取引を行う。・合意の際は証拠を残しておく。・ネット上の人とお金のやり取りをしない。⇒本人に問い合わせたら警察に相談、通報する。金銭が先であり悪質だった場合は警察に相談。
 ・ネット上の意見交換のできる場で他者の意見や思想などを激しく否定することによるいざこざ。・グループでの悪口。・ツイッターで先輩と言い合いになる。→考えてから自分の言いたいことをSNS上に載せる。・特定の単語に反応するソフトウェアを導入し、その単語が発信されたら運営に警告を発信するように設定する。⇒客観的に発言を見直し、自分の発言に否定はなかったかをみてから、相手に自分の考え方の何が不満なのかを聞く、双方の意見が出そろったら、双方が同意できるような意見を“話し合い”で見つける。とにかく、自分が冷静になることが大切。
 ・ネットで知り合った人と会う。→知らない人とやり取りしない。・アカウントをプライベートにする。⇒GPSをONにしたうえで防犯ブザーを装備して行く。
 ・思ってもいない意味で相手に自分の言ったことを判断されてしまう。→言葉で直接伝える。・書き言葉と話し言葉を区別する。(かわいくない)は(かわいい)。⇒弁解する。
 ・お金を自分がどのくらい使ったかわからない。→プリペイドカードを使う。
 ・見たくないものがネット上にある。→フィルタリングをする⇒削除を要請する。
 F『赤い附箋や青い附箋からまとめてみよう。』
 <熟議終了>

【ファシリテーター所感】

・グループでの熟議では、建設的に意見が積み上げられ、深めていくことができた。しかし、その論点を3分の発表にはまとめることは、大変だったようである。まとめ方としても、複数の視点をもてるような内容であっただけに、どう伝えるか、どう見せるかというプレゼンテーションも大切な資質であることに、参加した生徒たちも気付いてくれたことだろう。半日という短い時間ではあったが、参加生徒たちにとっては、自身の考え方を振り返り、考えることで大きな経験になったことと思う。

【書記所感】

書記として初めて参加しましたが、問題に対し、真摯に対策を考える態度がとても印象的でした。

<p>【5班】</p> <p>【ファシリテーター】川上 隆（情報科学専門学校）</p>	<p>【書記】末吉 速人（情報科学専門学校）</p>
<p>F『ポストイットを使って分類して、次のステップに備えましょう。最初は自分の身の回りにあるネットトラブルを考えて見ましょう。使う枚数は何枚でも OK です。』</p> <p>F『自分が被害に遭うということも考えて（意見を）出してみて』</p> <p>→詐欺や中傷、出会い系サイトなどの意見が貼りだされる</p> <p>→出した意見をまとめ、似た意見を一つにまとめる</p> <p>→まとめたものにピンクのポストイットでタイトルを付ける</p> <p>F『まとめた物を見て、足りないものがあったら付け加えよう』</p> <p>→青紙で引き籠もり、チェーンメール、ウィルス、不登校追加、ピンクでサイバー犯罪を追加</p> <p>F『今まで出てきた意見から重要な順に考えよう』</p> <p>S「問題の短さで言ったら誤解が一番短い、死ぬことも考えられない」</p> <p>S「誤情報で死ぬことはない」</p> <p>S「勧誘でその人の人生が決まってしまうのでは？」</p> <p>→意見を交えながら、意見を絞っていく</p> <p>→時間がなくなったので投票で「サイバー犯罪」に決定</p> <p>F『次にトラブルに巻き込まれない、起こさないためにどうしたらいいかをポストイットに書いてみよう』</p>	<p>F『国にやってほしいこと、学校でやってほしいこと、家庭でやってほしいことなどをまとめて書いてみよう』</p> <p>F『例えば、三井住友銀行になりすまして金を騙し取るとは詐欺だし、サーバーを攻撃してネットワークを使えなくするのも犯罪、信号とかもプログラムで出来ているから、そういったことを攻撃するのはサイバー犯罪。そのようなことに巻き込まれないためにどうすればいいかを緑の紙に書いていこう』</p> <p>→約 10 分のシンキングタイムの後、2 枚目の模造紙に貼り付けていく</p> <p>S「サイバー系の資格を作るのはどうか。」</p> <p>→資格化するのはいいと思うという意見が多数</p> <p>F『日本が世界で一番サイバー犯罪が起りにくい国になったら良いね。そうなるようにするには、どうすればいいかを考えてみてもいいかもね。』</p> <p>S「国にセキュリティを向上してもらって、自分たちが意識していく」</p> <p>→出た予防・対策を国と自分たちで分けていく S「大学でサイバー科のようなものを作ったらどうか」</p> <p>→専門的な知識を学べ、対策の術を身につけることができる</p> <p>→国公立で学科を成立させればいいのか？</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテーター所感】</p> <p>高校生の立場でアイデアに富む様々な意見が出され、大変楽しく過ごせました。これを機会として ICT への興味が深まることを期待します。</p>	
<p>【書記所感】</p> <p>話し合いが熱中していて、まとめるのを忘れて聞き入ってしまった。</p> <p>高校生の段階でサイバー犯罪についての対策などをグループで話し合えるのは素晴らしいことだと感じた。</p>	

<p>【6班】</p> <p>【ファシリテーター】西木裕子(横浜 f カレッジ)</p>	<p>【書記】上月遼(情報科学専門学校)</p>
<p>Q : F『この中でスマホを使っている人はいるか、どのよう に 使っているか』 →メンバー内では携帯の使用法のだいたいはゲーム や連絡手段であり使っているというわけではな い</p> <p>Q : F『身の回りにあるトラブルはどんなものがある?』 →「SNS のグループの仲間はずれ」 →「Twitter での悪口」 →「歩きスマホで歩行者との接触トラブル」 →「違法なサイトに飛んでしまい情報が抜き取られ る」 →「SNS での顔写真とか無断投稿」 →「迷惑メール」 →「ワンクリック詐欺」 →「ゲームの課金」 →「なりすまし」</p> <p>S「トラブルを大きくまとめていこう」</p> <p>S「なりすましやワンクリックとかは個人の意識でしっか り と確認する方がよい」</p> <p>S「ゲームについては各自でプレイしないようにすればい い」</p> <p>S「対策しづらい SNS についてなにか」</p> <p>S「LINE などで誤送信での対応の確認しづらく、上手く相 手 に気持ちを伝えられずに嫌な気持ちになる」</p> <p>S「LINE や Twitter などの悪口が原因でいじめにもつなが る」</p>	<p>S「そうしたらいじめについてさらに着目してみよう」</p> <p>S「SNS だと字の記録が残るリスクがあるのにいじめにつな がるのはなぜだろう」</p> <p>S「気軽に出来てしまう SNS の便利さゆえに、安易に行動 に 移してしまうのでは」</p> <p>S「いじめになるのはネットを介するコミュニケーションに 問 題があるのではないか、ネットがまだない時と比べ、 相 手に意思を伝えるときの違いついてなにか」 →「相手の顔が見えないのでつい本音が言えてしま う」 →「「あーね(あーなるほどね)」「りょ(了解)」など短縮 さ れた言葉が出てきて理解できない」 →「教師の目が届いてないから悪いことができてしま う」 →言葉の重みが直接言う場合と書く場合で変わってしま う →暴力と違い回りが気づきにくい」</p> <p>F「もし巻き込まれてしまったら」</p> <p>S「本当に大事な伝えるべきことは直接言うべき」</p> <p>S「誤解をしっかりと解く、放置はしない方がよい」</p> <p>S「相手に気持ちを伝えるときは対面と SNS でうまく使い 分 けることが大事だね」</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテーター所感】</p> <p>SNS 中のいじめは、生徒の皆さんの身近な問題でもあるので、活発に意見交流が出来ていた。経験者がリードしな が ら意見の集約とプレゼンテーションの準備を行いチームワーク良く進行で来た。こんな視点でも議論した方がよい等 の 提案が出たこともよかった。SNS 中のいじめを大人に相談することについて、相談してもあまり力になってくれな い との話があり、大人側の課題を痛感した。</p>	
<p>【書記所感】</p> <p>今回は、初参加ということでうまく生徒のサポートが出来るか不安でした。話し合いの中でもたびたび着眼点を深く掘 り 過ぎてしまい、うまくまとまらなくなっても熟議経験者の生徒もメンバーにいたり、ファシリテーターの方が上手く リ ードし進めてくれたので、とても助かりました。様々な見方をした面白い意見もたくさん聞くことが出来とても貴重 な 経験をする事が出来ました。</p>	

<p>【8班】</p> <p>【ファシリテーター】 柿本圭介（学校法人岩崎学園）</p> <p>【書記】 工藤 和輝（情報科学専門学校）</p>	
<p>F『どんなトラブルがあるか』</p> <p>S「付箋に1枚に1つ、自分に遭ったトラブル。SNSだけでなくパソコン、LINE、ゲームなど視野を広げましょう。困ったこと、トラブったこと、想像でも。10分くらい。」</p> <p>S「トラブルない」</p> <p>S「友達のトラブルでも。」</p> <p>S「ネット依存もトラブル？」</p> <p>S「そうだね。」</p> <p>F『まずは、拡散してから、収縮させようか。』</p> <p>S「スタ爆とか嫌だと感じることもいいよね。付箋⇒課金、写真の転載、LINEの未読無視、知らない人からのメッセージ、ツイッターとリアルギャップ、部活のトラブルがツイッターに、掲示板での中傷、ツイッターののっとり、ネット依存、気づいたらトーク後でもめた、ブロック」</p> <p>S「スタ爆されたときどんな気持ち？」</p> <p>S「何してんだらうって思う程度。」</p> <p>S「あと、架空請求、ストーカー」</p> <p>S「デマを流されると腹が立つ」</p> <p>S「ポケモンでデマを流されるとか」</p> <p>S「チェーンメール、リツイートしないと〜」</p> <p>S「そこまでトラブルにならない」</p> <p>S「ポケモンGOで一か所に人が集まり、ゴミが捨てられるなどもネットトラブルだと思う。」</p> <p>S「それは、ポケモンGOだけじゃないよね。」</p> <p>S「現実の問題から探ってもいいかも。」</p> <p>S「被害を（周知）広げているのがネットなだけ。」</p> <p>S「使い方じゃなくて使う人達の問題。」</p>	<p>S「住所の特定、何かを送られるとか」</p> <p>S「メルカリで頼んだものと違った。」</p> <p>S「ネットショッピングでの詐欺とかね。」</p> <p>F『ネットをどういうシーンで使うのかとか、何か軸を設けていくといいね。』</p> <p>S「加害者と被害者でわけているか。」</p> <p>S「意図的なものかどうか。」</p> <p>S「逆にネットのいいところは？」</p> <p>S「便利なことは多い。情報を得やすい。」</p> <p>S「でも、嘘の情報が多いよね。」</p> <p>S「嘘の情報と嫌がらせの違いをはっきりしたい。」</p> <p>S「“嘘の情報がなくなるといい”は、加害者でも被害者側でもある。」</p> <p>S「情報は選びとる必要があるけど、情報が多すぎ」</p> <p>S「アプリの仕様を変えとか、規制を設けるなど」</p> <p>F『発信側の意見も面白いね』</p> <p>S「小学生がネットを使うことを想定してみる？」</p> <p>S「低年齢化していくからその視点はいいかもね。」</p> <p>S「その視点で予防策を考えよう。」</p> <p>F『とりあえず、まとめてから予防策にいかうか』</p> <p>S「そういう環境にさせないためにどうするか」</p> <p>S「現状を映画とかストーリーで伝える」</p> <p>S「劇とかだと伝わりやすいね」</p> <p>S「ラインのいじめを体験させるなど」</p> <p>S「ゲームで詐欺させてみる」</p> <p>S「アプリで、位置情報ONにしたら通知するとか」</p> <p>S「ストレスを解消する方法を教える」</p> <p>S「小学校からも授業を選択できるといいよね」</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテーター所感】</p> <p>ファシリテーターとしては、高校生の柔軟な発想を妨げないように、また、自主的な議論を妨げないように配慮した。8班の高校生が自分たちで考え自分たちで話をまとめていくことができる高校生であったため、ファシリテーターとしては、ほとんど介入する必要がなかったが、高校生が自分たちで考えたオリジナリティのある発表内容を作り上げていたことにとても感心した。</p>	
<p>【書記所感】</p> <p>全員、初対面だが、意外とキッカケ1つあれば気さくに話し合っていたので、グループの雰囲気は良かったと思います。論点がとびとびになることが多いが、時に新鮮なアイデアが出てくるので面白い。書記としては、話の流れをつかむのに苦勞するので、休憩時間などに確認するとよい。</p>	

【9班】	
【ファシリテーター】 工藤陽介 (デジタルアーツ株式会社)	【書記】 野口英治 (情報科学専門学校)
<p>Q: F『スマホを持っているか?』 →全員持っている</p> <p>Q: F『PCを使うか?』 →「ゲームをするのに使う」 →「PowerPoint や Word などをするのに使う」</p> <p>F『身の回りにはどんなネットトラブルがある?』</p> <p>S「友達が LINE のタイムラインで主語なしで悪口を書いていて、名指しじゃないが誰に言っているのかわからずもやもやした」</p> <p>F『LINE タイムラインをよく使うか?』</p> <p>S「仲のいい友達が見る場所だからよく使う」</p> <p>S「SNS で顔が見えないところだから友達にふざけていったことを相手が重く受け止めてしまった」</p> <p>S「笑やwwを会話につけたりして SNS で会話の強弱をつけたりする」</p> <p>S「友達が校則違反したのに先生に怒られなかったと Twitter に書いたら学校の子がほかの先生にちくって怒られた」</p> <p>S「SNS で自分の自慢やかわいそうアピールしていて面倒くさい」</p> <p>S「面倒くさいが友達だったりクラスメイトだったりするのでフォローを外せない」</p> <p>S「面倒くさい投稿をみて仲が悪くなるのは受け止める側の問題ではないか」</p> <p>S「YouTube で無断転載が横行している」</p> <p>S「写真などを Twitter に投稿してストーカーなどが怖い」</p> <p>F『写真で場所が分かって何が困るか?』</p> <p>S「写真をネットに上げてストーカー問題になるのは危機感がないからではないか」</p> <p>F『ネットの詐欺にあったことはあるか?』</p> <p>S「料金が払われてないという迷惑メールが来たことがある」</p> <p>S「LINE でプリペイドカードの番号を送ってくださいという LINE が来た」</p> <p>S「他の班とは違うことを議論して独自性のある意見にしたい」</p> <p>S「SNS もよく使うが YouTube もよく使うからその話もしたい」</p> <p>S「YouTube で下ネタなど教育に良くないようなことが出る動画があり、自由に見れてしまう」</p> <p>S「下ネタなど教育に良くないようなことが出ていたとしても結局は知ることになるので問題はありますか?」</p> <p>S「YouTube で無断転載が横行していてどこまでが著作権的にセーフでどこからアウトなのかかわからない」</p> <p>S「YouTube で使い方のわかっていない言葉などをおぼえるのは問題だと思う」</p> <p>F『意見を集まったけどこの後どう話を進めるか?』</p> <p>S「意見をカテゴリー分けして何について深く議論するか決める」</p>	<p>F『このあと何について話していきたいか?』</p> <p>S「笑やwwについて深く掘りたい」</p> <p>F『SNS の問題はもっとあるか?』</p> <p>S「色々な人がいるから万人に対する対策は難しいのではないか?」</p> <p>F『広い視点で見て話を考えてみよう』</p> <p>S「ネットでの会話は表現の強弱がつけづらい」</p> <p>S「アプリを工夫して表現の強弱をつけられればいいのではないか?」</p> <p>F『対策について考えてみよう』</p> <p>S「対策を考えるのにはまず、すれ違いを起こしてしまった側の気持ちを考えればいいのか?」</p> <p>S「すれ違いを起こしてしまった側もあたふたしてしまっているはず」</p> <p>S「SNS で問題が起きたらやっぱり生の声で会話するのが大切だと思う」</p> <p>S「第三者を入れて会話すれば客観的に見てもらえて話は解決するのではないか?」</p> <p>S「第三者が友達だとどっちの味方をしたとかで問題になってしまう」</p> <p>S「第三者は友達とかではない客観的に見てくれる大人がいい」</p> <p>S「両者の気持ちが分かるアンケートのようなものがあればいい」</p> <p>S「アンケートではなく LINE のスタンプのように気軽に自分の気持ちを伝える手段があればいい」</p> <p>S「もっとテレビ電話をつかえばいいのではないか?」</p> <p>S「テレビ電話までいなくてもボイスメッセージをつかえばいい」</p> <p>F『今まで話で出た対策を広めるにはどうすればいいか?』</p> <p>S「まず自分がやって周りにどんどん広めていけばいいのではないか?」</p> <p>S「大人や自分たちの上の世代にはどう広めればいいのか?」</p> <p>F『今日来ている大人たちにもやってもらうのと総務省の人たちに頼ればいい』</p> <p>F『次は予防に考えてみよう』</p> <p>S「(笑) の使い方は予防になる」</p> <p>S「できる限り丁寧な日本語を使うのはいいのではないか?」</p> <p>S「昔こういう問題が少なかったのは手紙しかなく書くことについてよく見直せばいいのではないか?」</p> <p>F『こういう内容を広めるのはどうすればいいのか?』</p> <p>S「ルールとして決めるのは難しい」</p> <p>F『高校生が中学生や小学生に使い方の講座をやることもある』</p> <p>S「講座をやるのは自分たちでもやってみたい」</p> <p><熟議終了></p>
【ファシリテーター所感】	
<p>この班は、ネットのトラブルを網羅する方向ではなく、ネットのコミュニケーションに特化して議論を深めました。予防だけでなく対策についても深く議論でき、独創的な意見がたくさん出ました。例えば、「笑」「www」「スタンプ」などを使うことを予防にすることや、対策としても「第三者をオンラインのやりとりに混ぜて、トラブルを解決する」など、高校生ならではの意見が出ました。惜しかったのは発表の部分でした。時間不足でスライドの作りこみと発表の練習が十分にできず、それはファシリテーターの進め方がまずかったと反省しています。そこが十分に出来ていれば、議論の内容は全グループで最も良かったと思うので、代表に選ばれるレベルのアウトプットになったと思います。</p>	
【書記所感】	
<p>初対面でいきなりここで討論しろと言われてやっていたのに、討論が止まるところがなく、予想していたより話せていて驚きました。</p>	